

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 44-6460
- 第2すだちの家 (御調町) TEL (0848) 78-0311
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町) TEL (0848) 77-1122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町) TEL (0848) 29-5002

さつき会、尾道YMCA福祉専門学校を運営 尾道福祉専門学校として新たな出発

今年4月からさつき会が尾道YMCA福祉専門学校の経営を引き継ぐことについて、県の私立学校審議会



平成20年8月、学校法人広島YMCA学園から学校閉鎖についての相談を受け、その後、昨年2月に正式に建物及び学校経営権の譲渡についての申し入れがありました。そのため、法人内部で学校経営の是非について検討を行い、広島YMCA学園と協議を重ねた結果、譲渡及び学校の存続について合意に達し、昨年8月に関係書類を国及び県に提出、正式に承認されました。

Q 来年度の学生募集の状況はどうですか？

A 経営母体の変更による影響は全くありません。逆に介護人材確保に向けた国の政策的な後押しもあるためか、例年以上に入学希望者が増えています。

Q 社会福祉法人が経営するのは珍しいのですか？

A 全国的にみると、福祉専門学校を経営する社会福祉法人は少なくありません。逆に社会福祉法人の場合にはいろいろな施設とのネットワークが強いので、実習先や就職先の確保に有利です。

Q 先生方はどうなりますか？

A 異動等を希望する方を除き、基本的には全員が残りますので、教育内容については尾道YMCA福祉専門学校の内容がそのまま引き継がれます。なお、校長先生についてもこれまでと同様、上原千寿子先生が就任されます。

Q なぜ福祉専門学校を運営するのですか？

A 介護福祉士の養成など、介護等に関する専門教育機関がなくなると、老人ホーム等の職員の確保が難しくなるほか、介護の質が低下する可能性が高くなりますので、学校の存続は不可欠だと判断したからです。

学校に「NPO&A

▼真剣に講義を受ける職員ら



すだちの家 民安 和宏
お話の中で特に印象に残った言葉は、「接遇なしに良質なサービスは提供できません」「接遇はあなたたちの仕事です」というものでした。これからの組織の求める職員像とは、専門性の追求だけではなく、接遇力も高い、バランスのとれた職員であることがよく理解できました。

笑顔の実技指導で教えていただいた、「毎日鏡の前でウイスキーと声を出し、口角を上げる練習をしてから仕事にでかけましょう。そうすれば一日を元気に明るく過ごすことができます」という教えを胸に、今後関わっていくすべての人々が幸せな気持ちになれるような接遇を実践していきたいと思えました。

株式会社工パルス様のご協力をいただき、昨年11月20日(金)に尾道さつき会の全職員を対象とした接遇研修会が行われました。

講師を務めていただいたのは、病院関係を中心に年間約150回の接遇研修を実施されている宮村京子先生。

接遇インストラクターという肩書だけで、研修が始まる前の会場は水を打ったようにシーンと静まり返っていました。が、先生の優しい笑顔と楽しいお話で、すぐに笑顔がいつもの会場に変わっていききました。

合言葉はウイスキー!!
職員全員で接遇研修

ランチ・フローラ
Lunch Flora
〒722-0051 広島県尾道市東尾道 15-3
TEL (0848) 20-2586

美味しいらーめんのお店♪
もんち
尾道ベッチャーらーめん門池

尾道駅前映画館通りコインP前
TEL (0848) 23-2583
定休日/月曜日(祝日の場合翌日)
営業時間/AM11時~PM10時

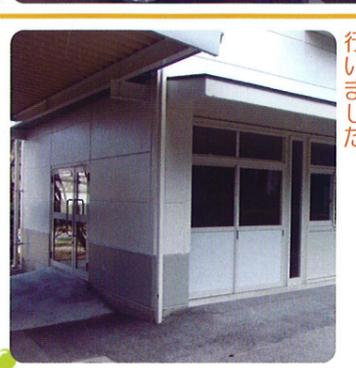
◆福祉車両をいただきました
ALSOK総合警備保障(株)「ALSOK」ありがとうございます。運動の様子から星の里に対し福祉車両2台を寄贈していただき、昨年11月24日に贈呈、納車式が行われました。

この運動は、「ありがとうの心」を理念とし国の内外を問わず社会に奉仕することを目的とし、ALSOKグループの中で目的に賛同する役員、社員の積立金等により運営されています。

星の里では、利用者の送迎、レクリエーション用として大いに活用しております。



◆ありがとうございました
昨年12月に広島県共同募金会様配分金を受け、むかいしま作業所事務所1階作業室の改修を行いました。



- 寄付者一覧**
- 寄附金 古川巖、廣谷毅、若田孝子、渡辺秀城、村上高広、安保ヒトミ、杉谷純俊、江頭末子、岡山芳泉地区民生委員児童委員協議会、小川照代、鼻孝子、菅嘉三、小玉八志、三島一郎、池岡強、万福寺仏教婦人会、梶山小児科医院、カラオケ喫茶すみれ、喜田恵美子、岡博、永正寺、匿名2名
順不同、敬称略
- 寄附物品 鈴木年春、香山裕、尾道盃友会、渡橋貞子、尾道サテイ、岸本加苗、須田稔、大福礼子
順不同、敬称略
- (二〇〇九年七月〜二〇〇九年十一月)

編集後記
自然に触れる機会が少なくなっていると言われる若い人たちに、芋ほりやしめ縄作りはいい体験になったと思います。これらを通して、家族や利用者さんとの絆がいつそう深まるといいですね。私の息子や娘たちにもいろいろ体験させたいと思います。

インフルエンザが一段と猛威を振るう季節になりました。皆さん気を付けて下さいね。
N.D

お正月といえば、みなさんは何を思い浮かべますか？初詣、おせち、門松、お年玉・・・いろいろありますね。デイサービスセンター星の里では、年末に利用者さんと一緒にしめ縄作りを行います。これは12年前から続く恒例の行事となっています。

まず、職員の知人や地域の方からわらを譲ってもらいます。そのわらの袴を取って柔らかく叩くとこのから、最後の飾り付けまで利用者さんと職員の手で仕上げていきます。「昔とった杵柄」と申しますか、あつという間に上手にできる方もいれば、あーでもない、こーでもないという苦戦する方もいました。やっとでき上がったしめ縄を見て、皆さん満足そうな表情だったのがとても印象的でした。



▲わらを柔らかく叩く職員

元気で過ごせますように

しめ縄作りに挑戦

星の里 檀上 信彦



▲しめ縄作りに奮闘する利用者さんたち

ある利用者さんは「昔はよくわらじを作っていたなあ」と思い出話を聞かせてくれました。また、「わらはは左巻きになわんといけんじや」と初心者の私たちに教えてくれる場面もありました。経験したことのない私たちに、いい体験となりました。

一年を締めくくるとこの行事を、来る新しい年の励みになるように今日まで続けて来ました。今年も利用者さんの笑顔がたくさん見られること、元気で過ごせることを願っています。



ハメハメハにハマッテます!!

むかいしま作業所

恒例の毎月2回の音楽活動。懐かしの歌で手遊びをしたり、ノリの良い音楽に合わせて踊ったり楽器を叩いたり、とにかく時間いっぱい元気に過ごしています。ボランティアの方に月1回は定期的に参加をお願いしており、「ピアノ演奏や豊富な歌とふれあい遊びで活動をリードして下さい、あきることがありません。次は何が出てくるかと、いつもワクワク感いっぱいです。



▶元気にいっぱい楽しむ利用者さん

活動に参加する利用者は「ダンスならこの人!」「ピアノの腕前は一番!」「マラカス大好き!」という総勢10名。そのせいか、同じ活動に参加していてもなかなか一つにはまとまらないけれど、「音楽が好き」という気持ちでつながっており、音楽を通してそれぞれが自由にアピールする場となっています。

なかでも、一番に盛り上がるのがエアロビクスと称して体を動かすこと。普段は演歌を聞きながらでも踊れるKさんですが、最近のお気に入りにはもっぱら「南の島ハメハメハ大王」。真っ先にその曲を選び、南国風の独自の振り付けで踊っている姿はとっても楽しそうなので、周囲のメンバーはいつもつられて踊ってしまいます。

そして最後は、踊って騒いで大いに疲れて活動を締めくくります。2週間後になる次の活動までしっかりと充電して、次回も大いに踊って汗を流すぞ!



会場中が大合唱

～バンド演奏で地域と交流～

にしぎこの家 藤井 清孝



▲ドリーム4の迫力ある生演奏

が生演奏で流れ、利用者さんは生き生きとした表情で歌われていました。曲目も「瀬戸の花嫁」や「みかんの花咲く丘」など、大変親しみやすい曲で歌いやすかったです。

バンド演奏を披露して下さったのは、ドリーム4のバンドの皆さんです。2005年に結成され、ドラムとキーボード、テナーサックスそしてベースの4名で活動されています。現在、広島県や愛媛県を中心に月1回の公演をされています。にしぎこの家には年3、4回足を運んで楽しませてくださいます。曲のリクエストにのっていただけるほか、地域の皆さんも参加しやすいように企画と地域の懸け橋となつて下さっています。

▼演奏にあわせて歌う利用者さん



わいわいお芋掘り

あいあい 湯浅 梨穂

昨年11月5日(木)と11月9日(月)、子どもたちと一緒に「お芋掘り」に行ってきました。春に苗を植え、「どんなお芋ができるかな?」と心待ちにしていた子どもたち。畑からどんどん出てくる、おっきい芋・ちっちゃい芋に大喜びでした!バケツをいっぱいにし、誇らしげな表情を見せてくれました。また、保護者も子どもたちと一緒に楽しみ、「わあ、みてみて!こんなところにも大きなお芋があるよ。」と子どもたちに負けず、大興奮。親子で秋の行事を楽しみました。

わーい!見て見て!こんなに大きなお芋が掘れたよ



その後、たくさんのお芋を使って「焼き芋パーティー」や「茶巾しぼり」「芋蒸しパン」「お芋チップ」を作って楽しみました。クッキングでは、恐る恐る包丁でお芋を切りました。ホットプレートで焼くとお芋がおいしい匂い。心も体も温まりました。

これからやってくる冬も、思いきり楽しみたいと思います。

尾道さつき作業所の

改修工事完成

さつき作業所 吉岡 郁子

尾道さつき作業所は開設して今年度で27年目を迎えました。以前から屋根のひび割れ等の老朽化が進んでいましたが、車両競技公益資金財団の助成を受け、改修工事を行うことになりました。工事は昨年11月9日から12月中旬にかけて行われ、真新しい防水シートが一面に張られ、雨漏りの心配がなくなりました。

一部作業室と廊下の床の張り替えも同時に行い、張り替えられた床を見て、利用者の皆さんからは口々に「きれいになったね」「気持ちいいね」という声が聞こえてきました。安心できる環境で、これからも毎日の作業や日課に励んでもらいたいです。



▲屋根に防水シートが一面に張られました

▲食堂から作業室へ向かう廊下が、暖かい感じになりました